

科目 コード	51910	授業 科目	島嶼保健看護特論 I Island Health Nursing Theory I			担当 教員	○大湾明美 川崎道子 神里みどり				
開講年次	博士前期課程 1年次前期		単位数	2単位	科目 分類	専門科目・特論	授業 形態	講義			
選択必修	選択(分野必修)		時間数	30時間							
授業概要	島嶼で暮らす人々の生活を、地理的、文化的な広い視野から理解し、島嶼における健康問題の解決や健康生活上の課題を解決するために、重要な概念としてプライマリー・ヘルス・ケアとチームアプローチ(協働と連携)について学ぶ。										
到達目標	<p>島嶼・へき地におけるコミュニティアセスメントを理解し、住民の健康問題の把握とその解決方法を地域保健看護の視点から述べることができる</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 島嶼の持つ地理的・歴史的な特徴が人々の健康問題に影響していることを説明できる。</li> <li>2. 島嶼保健看護の現状と課題について説明できる。</li> <li>3. 沖縄県の離島・へき地における保健看護の特徴を理解できる。</li> <li>4. 島嶼保健看護の重要な概念を理解でき説明できる。</li> </ol>										
回数	授業内容及び計画					担当者名	日時				
第1回 大湾	1. 島嶼保健看護の導入 島嶼の定義、島嶼の看護職者に求められる能力					大湾明美 川崎道子 神里みどり					
第2～4回 神里 大湾 大湾	2. 文献に学ぶ国内外の島嶼保健看護の現状と課題 国外の場合 国内の場合 沖縄の場合										
第5回 川崎	3. 我が国と沖縄県の離島・へき地における医療の現状										
第6～7回 川崎	4. 沖縄県の離島・へき地における保健看護の特徴 離島の実践例とディスカッション										
第8回 大湾	5. プライマリー・ヘルス・ケアとは										
第9回 大湾	6. プライマリー・ヘルス・ケア(国際看護の視点から)										
第10回 大湾	7. プライマリー・ヘルス・ケアの実践例とディスカッション										
第11回 大湾	8. チームアプローチと協働連携										
第12回 大湾	9. 協働連携の実践例とディスカッション										
第13回 大湾	10. 島嶼保健看護と文化的視座										
第14回 大湾	11. 離島・へき地の地域保健看護活動の特徴(まとめ)										
第15回 大・神・川	12. 学生の学びの報告と討議										
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。										
参考文献	随時、参考資料を配布する。										
成績評価の方法	授業への参加姿勢・ディスカッション・レポートにより評価する。										
備考	授業計画が変更することがある。 非常勤講師の日程は変更する場合がある。										

<b>科目コード</b>	51920	<b>授業科目</b>	島嶼保健看護演習 Island Health Nursing Seminar			<b>担当教員</b>	○川崎道子 神里みどり 大川嶺子 牧内忍	
<b>開講年次</b>	博士前期課程 1年次前期	<b>単位数</b>	2単位	<b>科目分類</b>	専門科目・演習	<b>授業形態</b>	演習	
<b>選択必修</b>	選択（分野必修）	<b>時間数</b>	60時間					
<b>授業概要</b>	特定の島嶼における健康問題の課題抽出と解決方法を具体的に学ぶ。 文献抄読・事例検討・討論等により学習を進め、これらの方法を島嶼保健看護の実践と教育・研究に応用する能力を養う。							
<b>到達目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 特定の島嶼の健康問題を把握し、解決すべき課題を抽出できる。</li> <li>2. 健康課題の解決方法を、その島嶼の地理的・文化的特徴をふまえて検討できる。</li> <li>3. コミュニティアセスメントの技法と支援技法を説明できる。</li> <li>4. 特定の地域の健康問題の課題解決に向け、他の島嶼の文献検討、事例検討、討議などの方法を用いて議論する。</li> <li>5. 特定の島嶼の保健看護の課題とその解決方法を説明できる。</li> </ol>							
<b>講義回数</b>	<b>授業内容及び計画</b>					<b>担当者名</b>	<b>日時</b>	
第1回	演習計画の検討 特定の島嶼の選定 特定の島嶼に関する文献収集方法の検討					川崎道子 神里みどり 大川嶺子 牧内忍		
第2・3回	特定の島嶼における地理的・歴史的・文化的背景							
第4～6回	地域活動とコミュニティアセスメントツールとアセスメント方法 人口動態、領域毎の量的データ・質的データ、 コミュニティ・アズ・パートナーモデル 等							
第7～16回	特定の島嶼のコミュニティアセスメント及び報告							
第17・18回	支援方法 個別支援、集団支援							
第19・20回	特定の島嶼での保健看護活動の事例検討							
第21～26回	文献学習 島嶼における健康問題と解決方法 過去の文献から多様な島嶼での健康問題とその解決方法を 学習し、その共通点・相違点を討議により整理する。							
第27・28回	島嶼における健康問題・保健看護の課題と解決方法の整理  健康問題及び保健看護の課題の整理・検討 課題に即した文献の収集と整理							
第29・30回	特定の島嶼の保健看護の課題とその解決方法に向けて実習計画書 (案)の報告と討議							
<b>テキスト</b>	関連資料、文献などを適宜配付する。							
<b>参考文献</b>	随時、文献・資料を配布する。							
<b>成績評価の方法</b>	授業に臨む準備状況、学習への参加姿勢、プレゼンテーション、レポート等により評価する。							
<b>備考</b>	各回の授業の担当者と実施日時については、開講時に提示する。							

<b>科目コード</b>	51925	<b>授業科目</b>	島嶼保健看護実習 Island Health Nursing Practicum			<b>担当教員</b>	○牧内忍 大川嶺子 川崎道子 神里みどり	
<b>開講年次</b>	博士前期課程 1年次後期	<b>単位数</b>	4単位	<b>科目分類</b>	専門科目・実習	<b>授業形態</b>	実習	
<b>選択必修</b>	選択（分野必修）	<b>時間数</b>	180時間					
<b>授業概要</b>	演習で学んだ特定の島嶼の保健看護の課題とその解決方法に向けて実施計画書に基づいて実践し、島嶼における課題解決の方法を学習する。また、他の島嶼での課題を抽出し、その解決方法を提示できる。							
<b>到達目標</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 立案した計画に基づいて、多職種協働のもとで支援活動を実践できる。</li> <li>2. 実践した支援活動を評価できる。</li> <li>3. 島嶼における生活者の健康問題をアセスメントし、課題を明確化できる。</li> <li>4. 特定の課題に対して、実施計画を作成できる。</li> <li>5. 実習を踏まえて、課題研究につなげることができる。</li> </ol>							
<b>回数</b>	<b>授業内容及び計画</b>						<b>担当者名</b>	
実習開始前	〈 オリエンテーション・実習準備 〉 4週間の実習計画書を作成する。 実習の目的、内容、日程、実習機関、実習記録様式等 実習計画に基づいて、実習機関との日程調整等を行う。						牧内 忍  大川嶺子  川崎道子	
実習期間中	〈 実習の展開 〉 実習地域は、自己の勤務地とその他の島嶼とする。 各実習機関の指導者や実習担当教員の指導の下で行う。 週の最終日には、実習機関の指導者と担当教員の参加を得て、実習 内容と達成成果についてカンファレンスを行う。						神里みどり	
実習終了時	〈 実習報告会の開催 〉 実習により学んだ事項や考察について、実習関係者・担当教員等を 対象に行う。							
実習終了後	〈 実習報告書の提出（実習内容、記録、課題レポートを含む） 〉							
<b>テキスト</b>	関連資料、文献などを適宜配付する。							
<b>参考文献</b>	必要時、文献・資料を紹介する。							
<b>成績評価の方法</b>	実習に臨む準備状況、自主的な実習実施状況、カンファレンスや報告会でのプレゼンテーション、実習報告書等により評価する。							
<b>備考</b>	実習地区・機関・日程については、早めに調整を行う。 実習中は、Eメールや電話等で担当教員と綿密に連絡を取る。							

科目 コード	51931	授業 科目	島嶼保健看護特別研究 I Island Health Nursing Special Study I			担当 教員	◎大湾明美 ◎神里みどり ◎川崎道子	
開講年次	博士前期課程 1～2年次	単位数	8単位	科目 分類	専門科目・特別研究	授業 形態	演習	
選択必修	選択（分野必修）	時間数	240時間					
授業概要	島嶼保健看護領域において院生が自ら研究課題をみつけ、文献検討、研究対象と方法、技法を選択し、データを収集し、結果を分析、考察して論文を完成することを学習する。この過程から学問をする態度、倫理性、科学的思考、学問を通しての社会的貢献などを学習する。							
到達目標	1. 研究プロセスを理解し、研究指導教員の指導の下に実施できる。 2. データ収集・分析、文章表現法などの基本的技法やマナーを習得できる。 3. 論理的思考ができ、分析力を習得できる。 4. 研究する者として必要な倫理的態度を身につける。							
回数	授業内容及び計画						担当者名	
1年次	4月 入学時ガイダンス：研究指導に関するオリエンテーション 研究指導教員希望届の提出・決定＊ 履修指導、履修届の提出＊  関心あるテーマ周辺の文献探索と検討 研究テーマの明確化・研究計画書作成  毎月 研究計画検討会・・・研究計画書の検討＊ 研究倫理審査申請＊ 研究フィールドの依頼と決定 データ収集・分析						大湾明美 神里みどり 川崎道子	
2年次	10月（4月） 研究結果検討会・・・研究結果の検討＊ 主査・副査の決定 考察・論文作成 12月（6月） 修士論文 第1稿・学位審査申請書の提出＊ 1月（7月） 中間発表会＊ 修士論文 最終稿 の提出＊  2月（8月） 論文審査・最終試験＊ 合否および修了判定 3月（9月） 公開発表会＊ 修士論文 保存版 の提出＊  ※（ ）内は、前学期修了者の日程							
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。							
参考文献	必要に応じ、文献・参考資料を提示する。							
成績評価の方法	審査委員会により論文審査および最終試験（口頭または筆答による）を行う。							
備考	注）＊印のついた項目は、日程または提出期限が定められるものである。したがって、各自掲示には十分注意を払うこと。 担当教員欄の◎は研究指導教員、それ以外は研究指導補助教員を示す。							

科目 コード	51932	授業 科目	島嶼保健看護課題研究 Island Health Nursing Problem Study			担当 教員	◎大湾明美 ◎神里みどり ◎川崎道子	
開講年次	博士前期課程 1～2年次	単位数	8単位	科目 分類	専門科目・課題研究	授業 形態	演習	
選択必修	選択（分野必修）	時間数	240時間					
授業概要	島嶼保健看護領域に関連した現場の中で自ら選択する課題に焦点をあて、課題に関する最新の知識を収集し理解した上で、問題解決の方法と技法を考究し、実践の結果を分析、考察して報告書を作成する。							
到達目標	1. 研究指導教員の指導の下、課題を発見し、問題解決方法や技法を考究し、実施できる。 2. データ収集・分析、文章表現方法など基本的技法やマナーを習得できる。 3. 論理的思考ができ、分析力を習得できる。 4. 実践家として必要な倫理的態度を身につける。 5. 専門職種として生涯学習する態度を身につける。							
回数	授業内容及び計画						担当者名	
1年次	4月 入学時ガイダンス：研究指導に関するオリエンテーション 研究指導教員希望届の提出・決定＊ 履修指導、履修届の提出＊  関心あるテーマ周辺の文献探索と検討 研究テーマの明確化・研究計画書作成  毎月 研究計画検討会・・・研究計画書の検討＊ 研究倫理審査申請＊ 研究フィールドの依頼と決定 データ収集・分析						大湾明美 神里みどり 川崎道子	
2年次	6月・10月（2月） 総合科目試験＊ 10月（4月） 研究結果検討会・・・研究結果の検討＊ 主査・副査の決定 考察・論文作成 12月（6月） 課題研究 第1稿・学位審査申請書の提出＊ 1月（7月） 中間発表会＊ 課題研究 最終稿 の提出＊  2月（8月） 課題研究審査・最終試験＊ 合否および修了判定 3月（9月） 公開発表会＊ 課題研究 保存版 の提出＊  ※（ ）内は、前学期修了者の日程							
テキスト	関連資料、文献などを適宜配付する。							
参考文献	必要に応じ、文献・参考資料を提示する。							
成績評価 の方法	審査委員会により総合科目試験（口頭および筆答）、課題研究報告書の審査および最終試験（口頭または筆答）を行う。							
備考	注）＊印のついた項目は、日程または提出期限が定められるものである。したがって、各自掲示には十分注意を払うこと。 担当教員欄の◎は研究指導教員、それ以外は研究指導補助教員を示す。							